

産業労働常任委員会資料

令和7年8月18日

産業人材の育成・確保の推進について

産業労働部
能力開発課

目次

◇兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進	・・・	3
◇令和7年度 産業人材の育成・確保の推進施策体系	・・・	3
I 求職者に対する能力開発	・・・	4
1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発	・・・	5
2 民間教育機関等に委託して行う能力開発	・・・	15
II 在職者に対する能力開発	・・・	17
1 公共職業能力開発施設で行う企業在職者等の技能向上	・・・	17
2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援	・・・	19
III 技能の振興と職業観の醸成	・・・	20
1 技能の向上	・・・	20
2 ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成	・・・	25
IV 多様な就労の促進	・・・	29
1 外国人の雇用・就職・定着の促進	・・・	29
2 障害者の雇用・就業・定着の推進	・・・	32



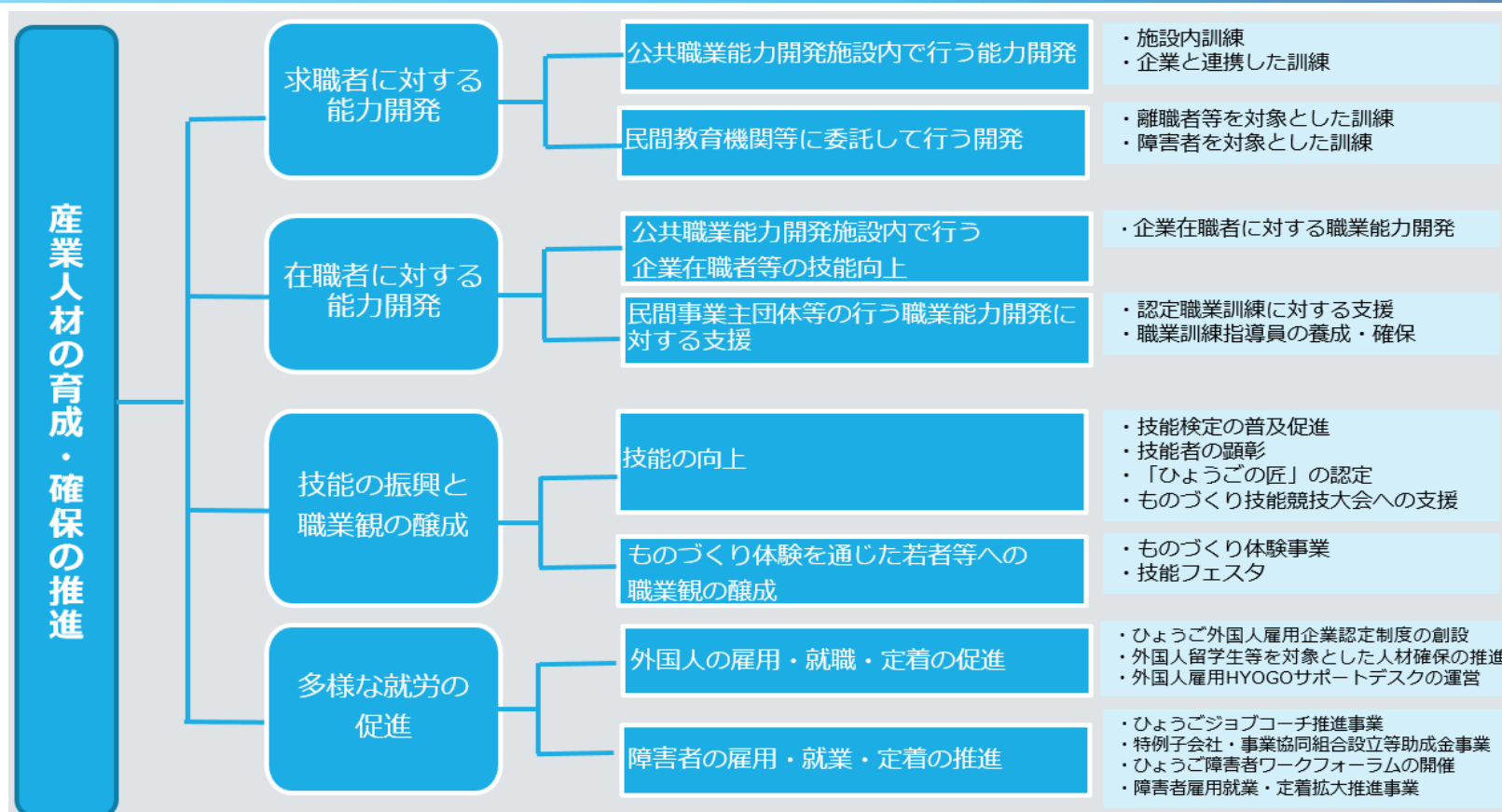
◇ 兵庫県職業能力開発計画に基づく施策の推進

職業能力開発促進法の規定により、国の職業能力開発基本計画に基づき策定した「第11次兵庫県職業能力開発計画」（令和3年度～令和7年度）に定めた基本的方向に沿って施策を推進。

〈第11次計画における職業能力開発施策の基本的方向〉

- 1 ポストコロナ社会を支える求人・求職者ニーズへの対応
- 2 長期化する職業人生におけるキャリア形成の支援
- 3 全員活躍社会の実現に向けた多様な働き方の推進
- 4 技能者の社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 公共職業能力開発施設における取組の充実

◇ 令和7年度 産業人材の育成・確保の推進 施策体系

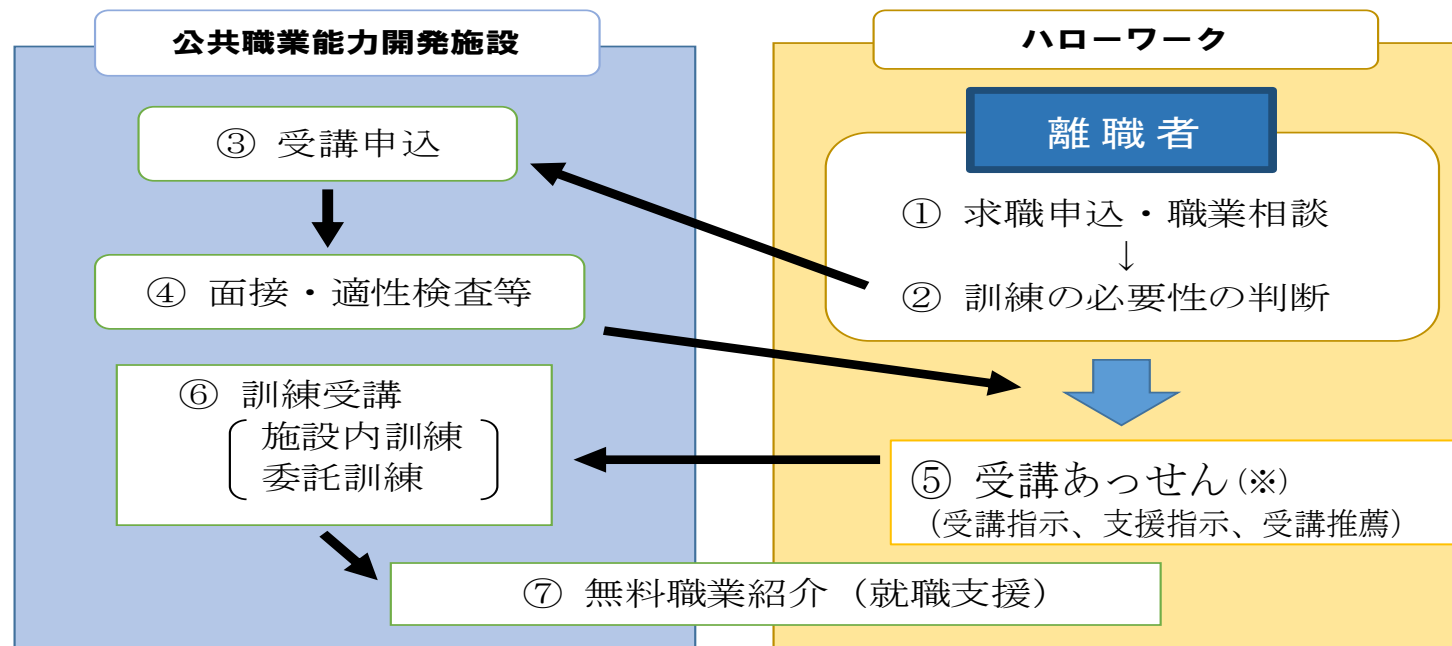


I 求職者に対する能力開発

- ・職業訓練（ハローワーク）とは、希望する職業に就くために必要なスキル・知識を習得するための公的制度。
- ・求職者の就業支援のため、公共職業能力開発施設における「施設内訓練」及び民間教育機関等を活用した「委託訓練」を実施。
- ・障害者を対象とした訓練では、障害特性やニーズにきめ細かに配慮して実施。

公共職業能力開発施設での職業訓練の受講の流れ

ハローワーク(公共職業安定所)の求職者のうち、就職のために訓練受講が必要であると判断された者が、ハローワークから受講あっせん(※)を受け訓練を受講。(一般校の場合、新規学卒者は公共職業能力開発施設へ直接申込)



※ 受講あっせんとは…

受講指示：雇用保険失業給付を受給中の方が公共職業訓練を受講する場合に、訓練修了まで延長して失業給付を受けられるもの

支援指示：雇用保険失業給付を受給できない方が公共職業訓練を受講する場合に、職業訓練受講給付金（手当月10万円、通所手当、寄宿手当）を受けられるもの

受講推薦：上記の要件に当てはまらないが、受講することが本人の就職において有利になると思われる場合に職業訓練を受講できるもの

1 公共職業能力開発施設内で行う能力開発

- 県では、職業能力開発促進法に基づき、公共職業能力開発施設5校を拠点として、雇用のセーフテネットとしての職業訓練を実施。
- それぞれの地域における求人・求職ニーズに合わせた職業能力の開発を推進。

● ものづくり大学校（姫路市）

コース名	定員	対象	入学月	期間
溶接コース	15人	18歳以上の求職者※1	4月	1年
塗装コース	15人	18歳以上の求職者※1	4月	1年
機械製図・工作(デュアル)コース	15人	概ね55歳未満の求職者	4月	1年
住宅設備コース	15人	18歳以上の求職者	4月	1年
建築コース	15人	18歳以上の求職者	4月	1年
CADコース	20人	18歳以上の求職者	4,10月	6カ月
産業技術資格コース	15人	18歳以上の求職者	4,10月	6カ月

● 神戸高等技術専門学院（神戸市西区）

コース名	定員	対象	入学月	期間
インテリアリフォームコース	15人	18歳以上	4月	1年
CAD / CAM 加工コース	15人	18歳以上	4月	1年
ものづくりオフィスワークコース	20人	18歳以上※2	4月	1年
電気制御コース	15人	18歳以上	4月	1年
印刷総合技術コース	15人	18歳以上	4月	1年
給食調理コース	20人	18歳以上※3	4,10月	6カ月

※1 18歳未満の求職者も一部応募可能。 ※2 新規高卒者を除く、義務教育課程までの子育て中の方を優先。 ※3 新規高卒者を除く

● 但馬技術大学校（豊岡市）

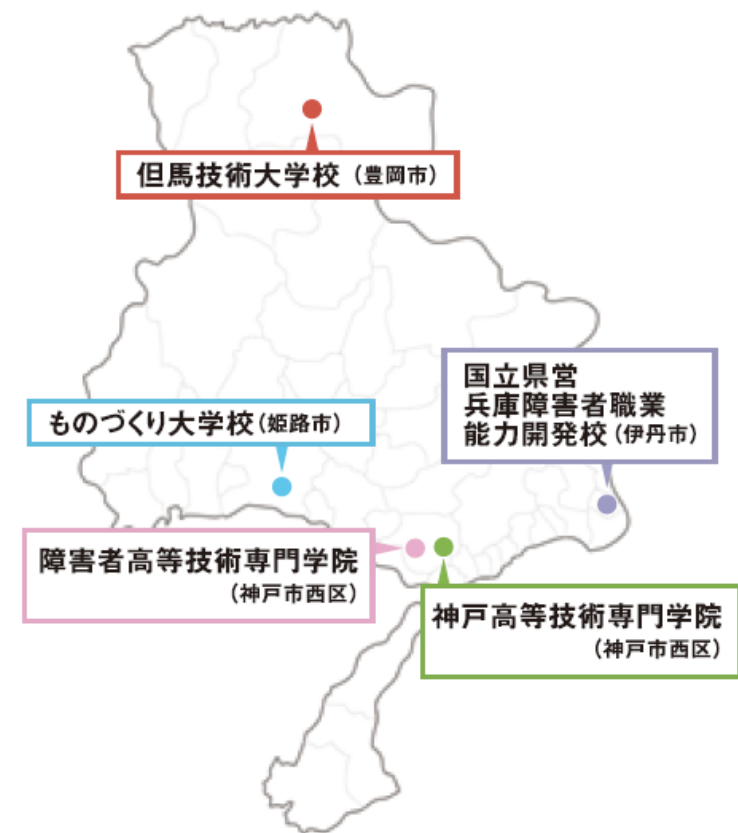
コース名	定員	対象	入学月	期間
建築工学科	20人	高卒以上	4月	2年
機械製造学科	20人	18歳以上	4月	1年
自動車工学科	20人	高卒以上	4月	2年

● 障害者高等技術専門学院（神戸市西区）

コース名	定員	対象	入学月	期間
ビジネス事務科	10人	身体障害者等	4月	1年
総合実務科	15人	知的障害者	4月	1年
Jobサポート科	5人	精神障害者	4,10月	6カ月
キャリアチャレンジ科	7人	発達障害者	4,10月	6カ月

● 国立県営兵庫障害者職業能力開発校（伊丹市）

コース名	定員	対象	入学月	期間
OA事務科	20人	身体障害者等	4月	1年
オフィスワークCAD科	15人	身体障害者等	4月	1年
総合実務科	15人	知的障害者	4月	1年
ビジネス実務科	5人	精神障害者	4,10月	6カ月
キャリア実務科	15人	発達障害者	4月	1年



(1) 施設内訓練

【令和7年度予算 444,885千円】

- 大規模な設備や専門的な指導体制のもと、地域の産業ニーズに応じて、民間では実施困難な機械加工等ものづくり分野や、きめ細かな対応を必要とする障害者対象のコースを施設内訓練にて実施。

- 入校率は人手不足により雇用環境が良好なことに加え、近年のものづくり分野離れや障害者法定雇用率上昇による企業での早期雇用が活発化した影響のため減少傾向。特に但馬技術大学校では地域の人口減少等が入校率の低迷の要因となっている。
- 一方で就職率は例年80%台後半で推移しており、全国平均（一般82.7%、障害68.9%）より高い就職率を維持している。

【実施状況】

(単位：人)

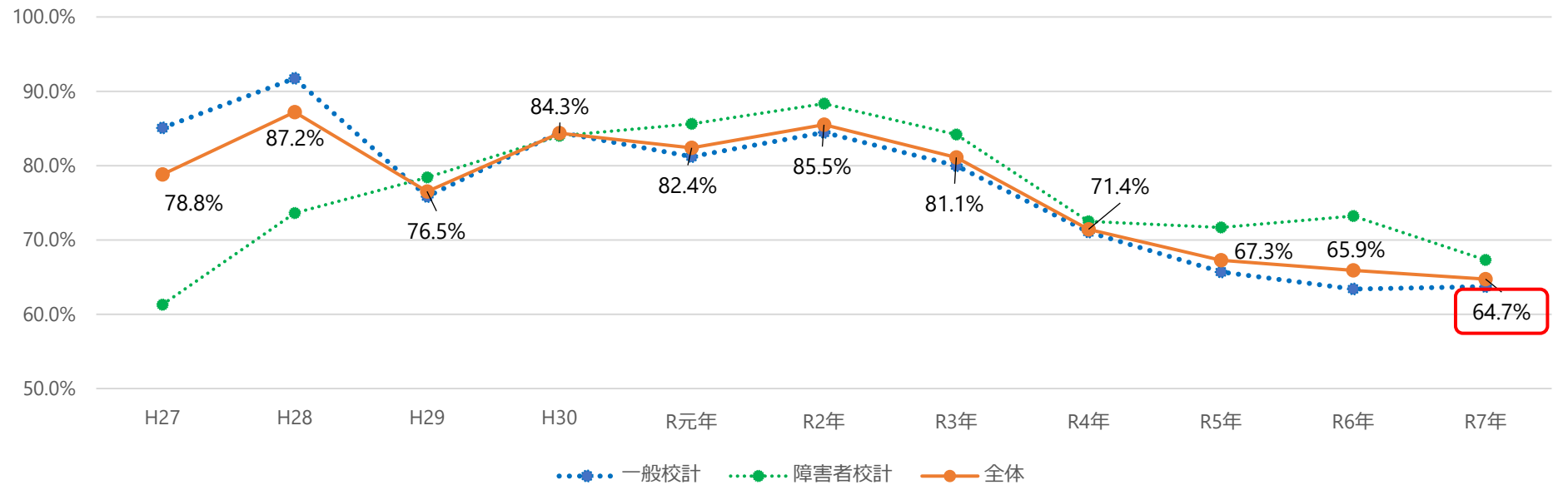
区分	募集定員 ※R7は4月入校分のみ			入校者			修了者①		就職者②				就職率 (②/(①+③))	
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R5	就職 中退 ③	R6	就職 中退 ③	※1 R5	R6
ものづくり大学校	135	145	110	83	96	80	70	85	61	2	85	7	88.4%	92.4%
但馬技術大学校	80	60	60	51	27	17	29	24	37	9	26	2	97.4%	100%
神戸高等技術 専門学校	120	120	100	86	83	75	66	66	69	14	60	5	86.3%	84.5%
小計（一般校）	335	325 ※2	270	220	206	172	165	175	167	25	171	14	89.3%	90.5%
障害者 高等技術専門学校	45	37	37	30	21	16	18	14	25	7	17	4	100%	94.4%
兵庫障害者 職業能力開発校	75	75	70	56	61	56	40	47	42	10	45	9	84.0%	80.4%
小計（障害者校）	120	112	107	86	82	72	58	61	67	17	62	13	89.3%	83.8%
合計	455	437	377	306	288	244	223	236	234	42	233	27	89.3%	88.6%

※1 R5ものづくり大学校の就職率について、他コースへの内部進学者（3名）は就職率算定の際に修了者から除く

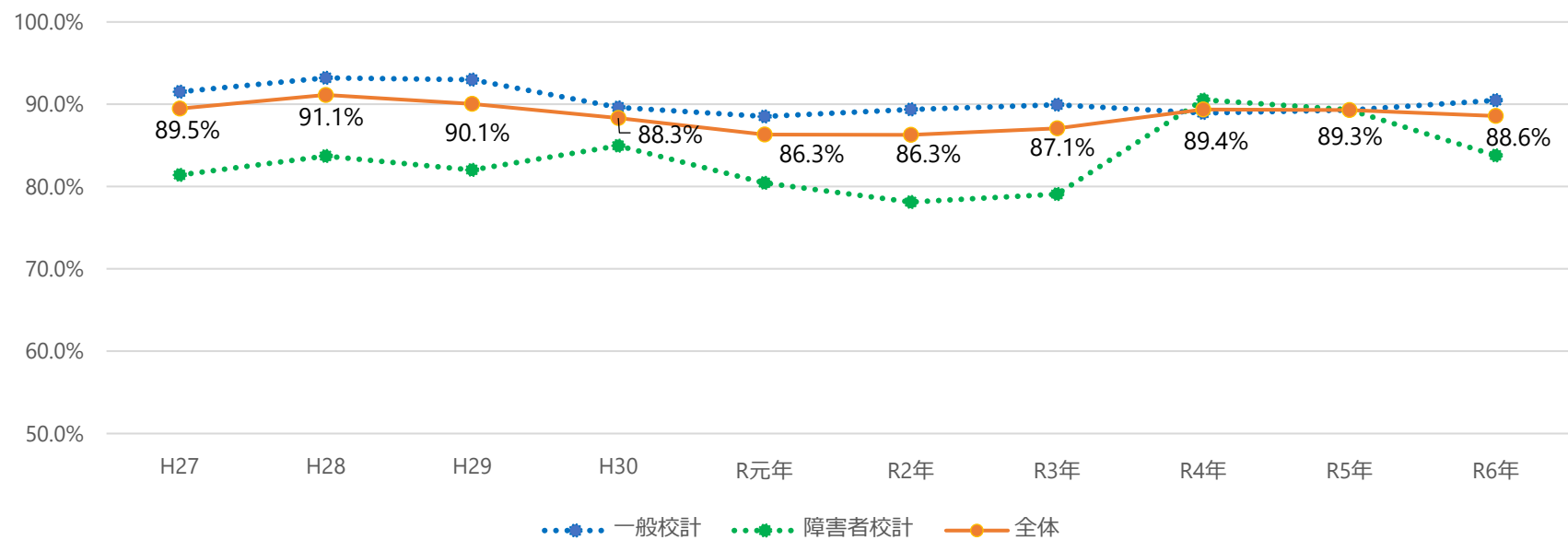
※2 R6障害者高等技術専門学校では、新規開設コースを10月開講とした

【入校率・就職率の推移】

入校率 (H27～R7)



就職率 (H27～R6)



参考 各校の状況【ものづくり大学校】

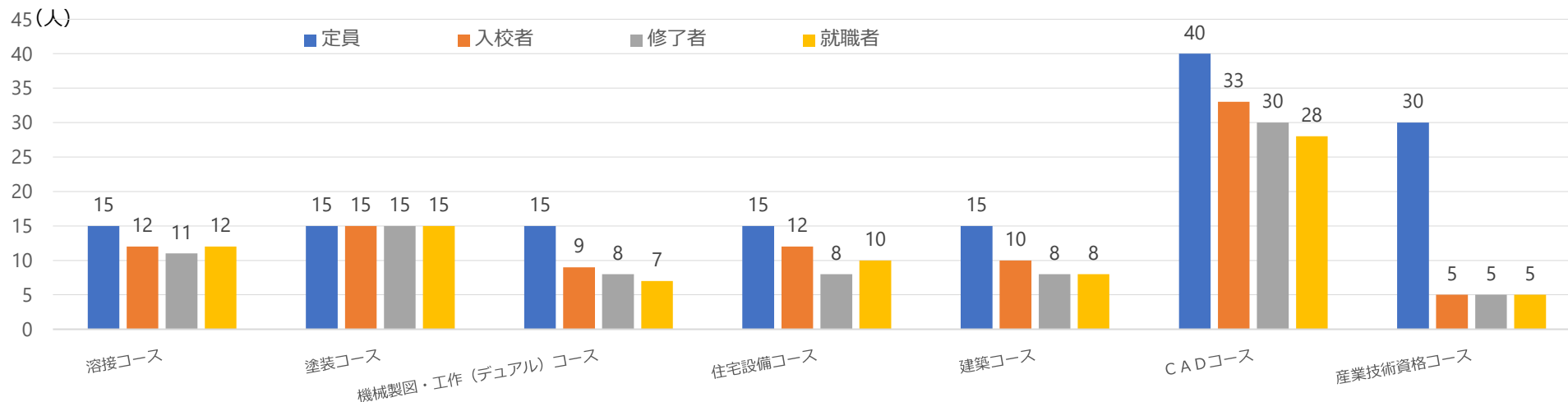
- ・ものづくり人材育成の拠点として整備された、県内で最も新しい職業能力開発施設。
 - ・住宅系、金属系を中心とする幅広い実践的なものづくりのスキル習得を目指す。
- ・令和6年度に新設した「産業技術資格コース」の入校率は16.7%と非常に低いが、11種類の資格が取得可能であり、多くの技能が学べ入校者の満足度は高い。将来の選択肢が広がる魅力的なコースとして広く周知し、入校者の確保に力を入れている。

<コース内訳> 令和6年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
溶接コース	15	12	80.0%	11	12	1	100.0%
塗装コース	15	15	100.0%	15	15	0	100.0%
機械製図・工作(デュアル)コース	15	9	60.0%	8	7	0	87.5%
住宅設備コース	15	12	80.0%	8	10	2	100.0%
建築コース	15	10	66.7%	8	8	1	88.9%
CADコース(4月、10月開講)	40	33	82.5%	30	28	3	84.8%
産業技術資格コース(4月、10月開講)	30	5	16.7%	5	5	0	100.0%
合計	145	96	66.2%	85	85	7	92.4%



フォークリフト運転
(産業技術資格コース)



参考 各校の状況【但馬技術大学校】

- ・2年課程の県内唯一の自動車工学科をはじめ、建築系及び1年課程の機械系の訓練で、高度な知識と技術の習得を目指す。
- ・全てのコースにおいて、近年、入校率が低迷している。人口の減少や若年層の進学志向の変化が背景にあると考えられる。

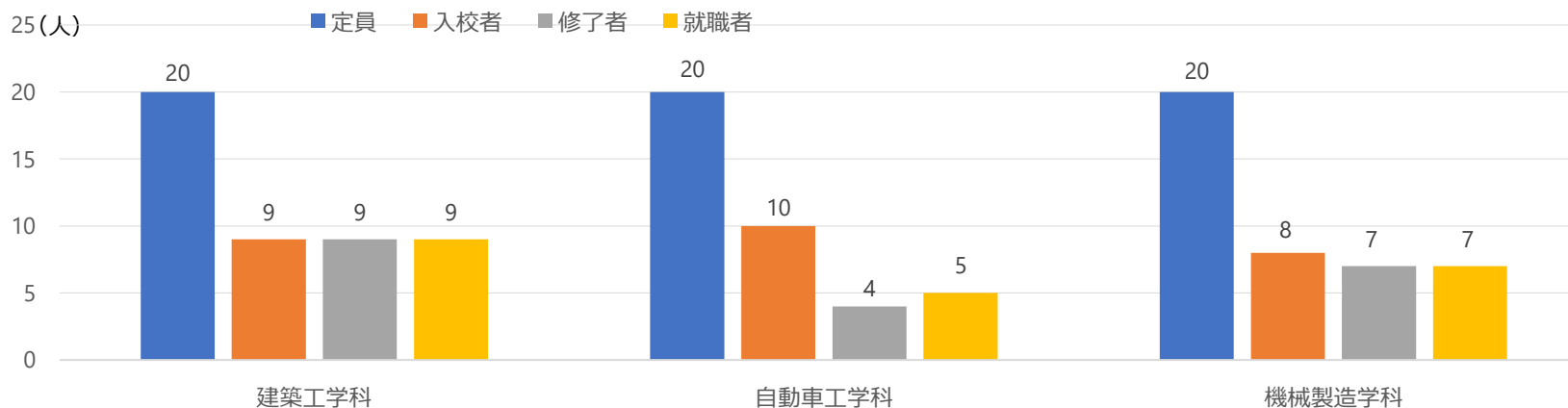
＜コース内訳＞ 令和6年度実績

コース名		定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
建築工学科	1年生	20	9	45.0%	—	—	—	—
	2年生	—	[9]	—	9	9	0	100.0%
自動車工学科	1年生	20	10	50.0%	—	—	—	—
	2年生	—	[4]	—	4	5	1	100.0%
機械製造学科	1年生	20	8	40.0%	7	7	0	100.0%
機械工学科※	2年生	—	[5]	—	4	5	1	100.0%
合計		60	27	45.0%	24	26	2	100.0%



木造建築施工実習（建築工学科）

※R6年より機械製造学科に再編のため、2年生のみ在籍。〔〕書きは、前年度からの繰越者を記載。



参考 各校の状況【神戸高等技術専門学院】

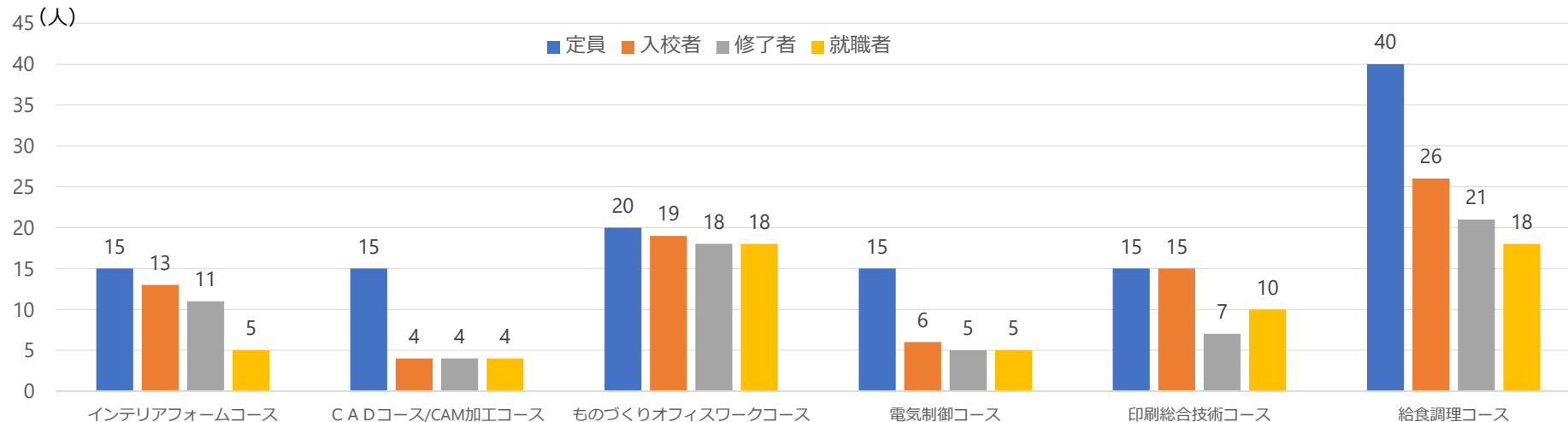
- ・多彩な職種で求人の多い大都市での立地に相応しい高度な訓練を実施。
- ・住宅、電気、機械、印刷、事務など幅広い訓練コースに加え、西日本で唯一となる給食調理コースを設置。
- ・「ものづくりオフィスワークコース（R6新設）」は、子育て中の方が受講しやすい訓練時間を設定しており、ものづくり産業への就職を目指す子育て中の女性から人気が高い。
- ・「CAD/CAMコース」「電気制御コース」の入校率は低いが、魅力的なものづくり系コースであるため、入校促進に向けた広報活動等をより強化していく。

<コース内訳> 令和6年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
インテリアリフォームコース	15	13	86.7%	11	5	0	45.5%
CADコース/CAM加工コース	15	4	26.7%	4	4	0	100.0%
ものづくりオフィスワークコース	20	19	95.0%	18	18	0	100.0%
電気制御コース	15	6	40.0%	5	5	1	83.3%
印刷総合技術コース	15	15	100.0%	7	10	4	90.9%
給食調理コース（4月、10月開講）	40	26	65.0%	21	18	0	85.7%
合計	120	83	69.2%	66	60	5	84.5%



5軸加工機調整作業
(CAD/CAM加工コース)



参考 各校の状況【障害者高等技術専門学院】

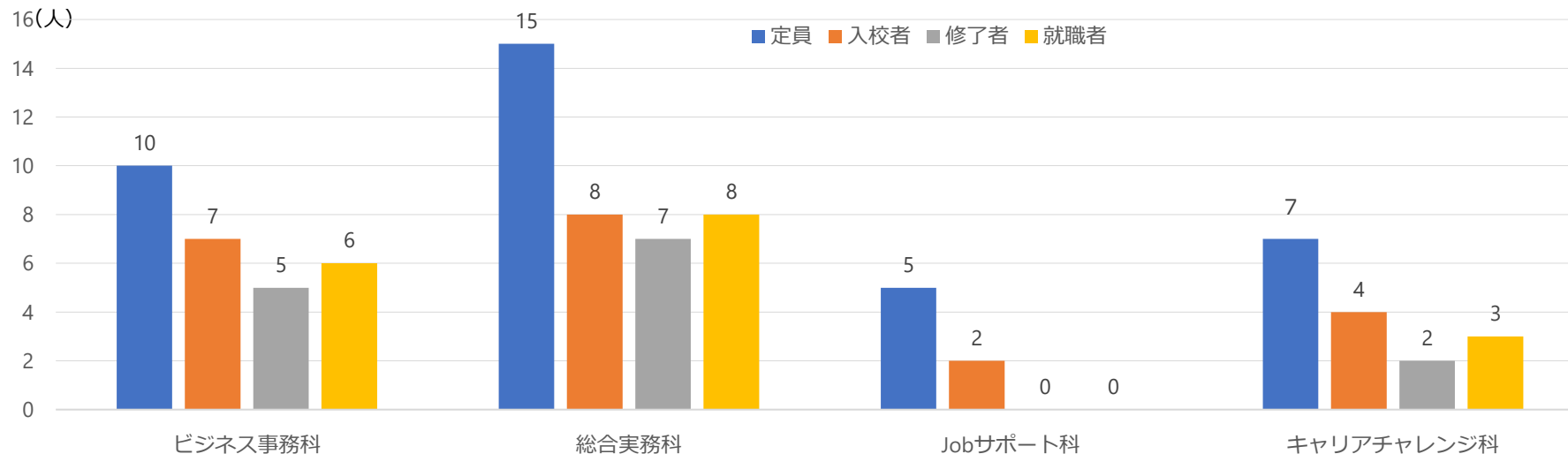
- ・ きめ細かな指導による少人数訓練により、就職に直結した人材を育成。
 - ・ 障害者に優しい平屋建てで、看護師や臨床心理士による相談体制も整備。
 - ・ 令和6年度から訓練コースを見直し、新たに精神障害者、発達障害者を対象としたコースを新設（10月開講）。
- ・ 障害者法定雇用率の上昇により、職業訓練を経ずに就職するケースの増加等による影響で、全てのコースにおいて入校率が低下している。

<コース内訳> 令和6年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/(③+⑤))
ビジネス事務科【身体等】	10	7	70.0%	5	6	2	85.7%
総合実務科【知的】	15	8	53.3%	7	8	1	100.0%
Jobサポート科【精神】(10月開講)	5	2	40.0%	0	0	0	0%
キャリアチャレンジ科【発達】(10月開講)	7	4	57.1%	2	3	1	100.0%
合計	37	21	56.8%	14	17	4	94.4%



販売実習（総合実務科）



参考 各校の状況【国立県営兵庫障害者職業能力開発校】

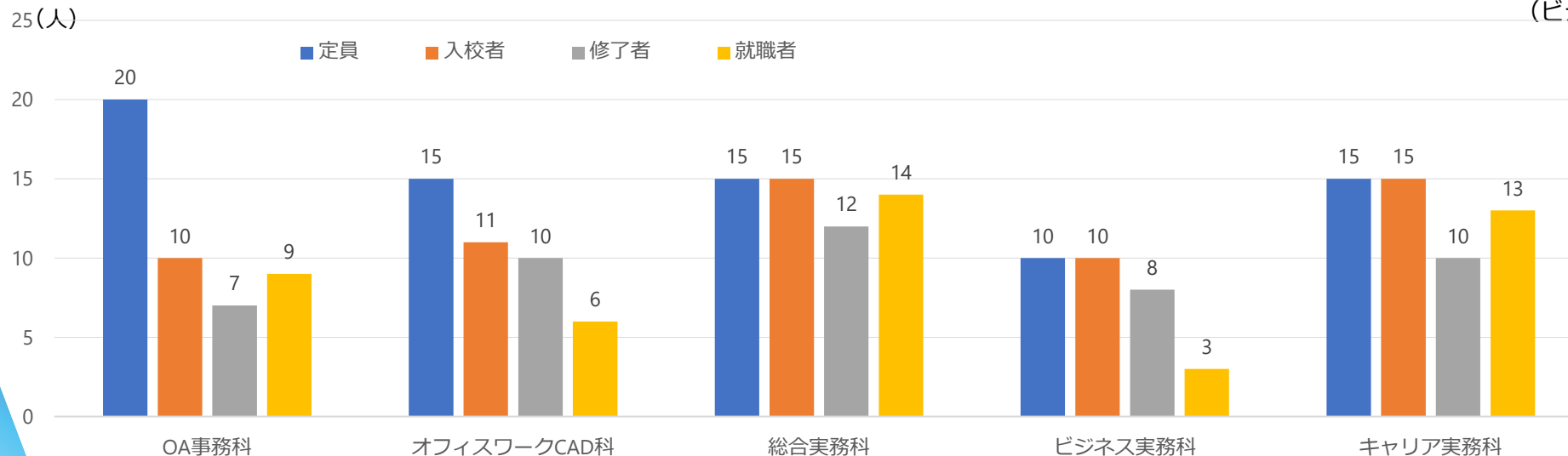
- ・障害特性や個々の適性に配慮した職業訓練を提供する国立県営校。
- ・就職相談、生活相談等も充実しており、訓練生のスキルアップや将来を見据えた多角的な支援を実施。
- ・事務補助や販売職・介護職など幅広い職種に対応した実務スキルが習得できる実務系3コースは人気があり、入校率100%を達成している。
- ・障害者法定雇用率の上昇により、他の障害種別に比べて身体障害者は比較的就職しやすい傾向があるため、対象の2コースは入校率が低い。

<コース内訳> 令和6年度実績

コース名	定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	修了者 ③	就職者 ④	うち 中退⑤	就職率 (④/ (③+⑤))
OA事務科【身体等】	20	10	50.0%	7	9	3	90.0%
オフィスワークCAD科【身体等】	15	11	73.3%	10	6	1	54.5%
総合実務科【知的】	15	15	100.0%	12	14	2	100.0%
ビジネス実務科【精神】（4月、10月開講）	10	10	100.0%	8	3	0	37.5%
キャリア実務科【発達】	15	15	100.0%	10	13	3	100.0%
合計	75	61	81.3%	47	45	9	80.4%



清掃管理実習「ポリッシャー操作」
(ビジネス実務科)



令和7年度6月補正予算（緊急経済対策）

公共職業能力開発施設の機能強化〈78,000千円〉

長期的な視点に立ち、米国関税措置に耐えうる本県の産業競争力の強化を担う若手人材を育成するため、公共職業能力開発施設での職業訓練に必要な機器整備を実施。

導入機器	必要性・効果		導入校
高度NC旋盤一式 ※コンピュータ制御により 材料を加工する機械	自動車部品のような量産品加工から極めて精緻な品質が求められる航空産業向けなど、製造業の幅広い分野の部品加工に対応が可能であり、高度化する企業ニーズに対応できる人材を育成		神戸高等技術 専門学院
協働ロボット 学習システム	- 近年、製造業企業において人とロボットが同じ現場で働く「協働ロボットシステム」の導入が加速 - 企業のDX化の流れに対応するため、企業現場で使用されている協働ロボットの操作に熟知する技術者を育成		ものづくり大学校
直流アーク溶接機 ※電気の放電熱で金属を溶 かし接合させる溶接機器	- 電流が安定する直流式の活用により、溶接作業の安定性や完成度が向上 - 自動車、建物の骨組み、橋梁など、金属を接合する様々な分野で活躍できる人材を育成		ものづくり大学校

(2) 企業と連携した訓練

公共職業能力開発施設内の訓練カリキュラムに、1週間程度のインターンシップを導入。
実際の現場で、熟練技能者の指導による実践力の向上を図るとともに、就職におけるミスマッチを防止。

【実施状況】

施設名	科目名	R5年度	R6年度
		実人数（受入企業数）	実人数（受入企業数）
ものづくり大学校	建築コース （～R5：木造建築コース）	25人（18社）	20人（18社）
	住宅設備コース	－	1人（1社）
但馬技術大学校	建築工学科	11人（9社）	9人（9社）
	機械製造学科 （～R5：機械工学科）	5人（4社）	8人（7社）
神戸高等技術専門学院	給食調理コース	49人（13社）	45人（14社）
	CAD/CAM加工コース	－	8人（6社）
障害者高等技術専門学院	ビジネス事務科	1人（1社）	3人（3社）
	総合実務科	24人（15社）	9人（7社）
	ものづくり科（～R5）	3人（3社）	
	キャリアチャレンジ科（R6～）		1人（1社）
	情報サービス科（～R5）	2人（2社）	
	Jobサポート科（R6～）		0人（0社）
兵庫障害者職業能力開発校	OA事務科	1人（1社）	1人（1社）
	オフィスワークCAD （～R5：インテリアCAD科）	1人（1社）	3人（3社）
	総合実務科	24人（18社）	24人（18社）
	ビジネス実務科	2人（2社）	0人（0社）
	キャリア実務科	11人（9社）	22人（18社）
合計		159人（96社）	154人（106社）

2 民間教育機関等に委託して行う能力開発

- ・求職者等の多様なニーズに効果的に対応するため、民間教育機関等を活用し、様々な分野における職業訓練を実施。
- ・プログラミングやWEBデザイン等のデジタル分野、PC基礎・経理事務など求職者ニーズの高い分野、人手不足が著しい介護、福祉分野や国家資格等の取得を目指した訓練を実施。

(1) 離職者等を対象とした訓練

【令和7年度予算 1,825,147千円】

3つのコース区分により実施。

ア 知識習得コース：就職に必要な知識、技能習得を目指した講座（PC基礎、事務分野、簿記等）

イ 企業実習付きコース：民間での実習を活用した訓練講座（Web制作、プログラミング、靴製作等）

ウ 長期人材育成コース：国家資格等の取得を目指す最長2年間の長期講座（保育士、介護福祉士、栄養士等）

【実施状況】

令和7年6月末現在（単位：人）

コース区分	期間 (月)	年度	コース数	募集定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	前年度から の訓練生③	修了者 ④	就職者 ⑤	就職中退 ⑥	就職率 (⑤/④+⑥)
知識習得 コース	3～6	R5	165	2,841	2,042	71.9%	415	2,158	1,757	165	75.6%
		R6	136	2,377	1,652	69.5%	392	1,727	1,298	134	69.7%
		R7	40	693	470	67.8%	364	292	67	14	21.9%
企業実習付き コース	4～6	R5	11	181	146	80.7%	0	100	122	38	88.4%
		R6	8	128	100	78.1%	0	67	83	26	89.2%
		R7	4	58	50	86.2%	0	0	0	0	0.0%
長期人材育成 コース	18～24	R5	15	115	73	63.5%	88	78	68	2	85.0%
		R6	15	111	71	64.0%	69	65	37	2	55.2%
		R7	12	83	45	54.2%	62	-	1	1	100.0%
合 計		R5	191	3,137	2,261	72.1%	503	2,336	1,947	205	76.6%
		内デジタル	49	877	679	77.4%	147	665	566	104	73.6%
		R6	159	2,616	1,823	69.7%	461	1,859	1,418	162	70.2%
		内デジタル	40	727	531	73.0%	178	508	427	81	72.5%
		R7	56	834	565	67.7%	426	292	68	15	22.1%
		内デジタル	16	290	193	66.6%	171	94	24	7	23.8%

(2) 障害者を対象とした訓練

【令和7年度予算 83,512千円】

民間教育機関、特例子会社等を活用し、障害者の特性に応じた多様な委託訓練を5つの区分により実施。

- ア 知識・技能習得訓練コース**：就職に必要な知識、技能習得を目指した訓練（PC基礎、HP作成等）
イ 実践能力習得訓練コース：事業所の現場を活用した実践訓練（飲食店、宿泊施設等）
ウ eラーニングコース：通所が困難な重度障害者等を対象に、IT技能等習得を目指した訓練（PC基礎、Web作成等）
エ 特別支援学校早期委託訓練コース：10月時点で内定していない特別支援学校高等部の生徒を対象とした訓練
オ 知的障害者特別委託訓練コース：阪神友愛食品(株)を委託先に、知的障害者の職場適応力や就労に必要な体力の養成を目指した訓練（食品流通、販促物封入等）

【実施状況】

令和7年6月末現在（単位：人）

コース区分	期間 (月)	年度	コース数	募集定員 ①	入校者 ②	入校率 (②/①)	複数受講者 ③	修了者 ④	就職者 ⑤	就職中退⑥	就職率 (⑤/④+⑥-③)
知識・技能習得訓練	2～3	R5	12	52	42	80.8%	0	34	19	0	55.9%
		R6	11	46	36	78.3%	1	31	9	1	29.0%
		R7	4	15	12	80.0%	0	4	1	1	20.0%
実践能力習得訓練	2～3	R5	7	18	14	77.8%	0	14	9	0	64.3%
		R6	1	4	2	50.0%	0	2	0	0	0.0%
		R7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
eラーニング	3	R5	6	19	13	68.4%	0	12	5	0	41.7%
		R6	6	20	10	50.0%	1	9	1	0	12.5%
		R7	2	7	6	85.7%	0	-	-	-	-
特別支援学校早期委託訓練	3	R5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		R6	2	2	2	100.0%	0	1	1	0	100.0%
		R7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害者特別委託訓練	12	R5	1	15	15	100.0%	0	15	15	0	100.0%
		R6	1	15	14	93.3%	0	14	14	0	100.0%
		R7	1	15	11	73.3%	0	-	-	-	-
合 計		R5	26	104	84	80.8%	0	75	48	0	64.0%
		R6	21	87	64	73.6%	2	57	25	1	44.6%
		R7	7	37	29	78.4%	0	4	1	1	20.0%

II 在職者に対する能力開発

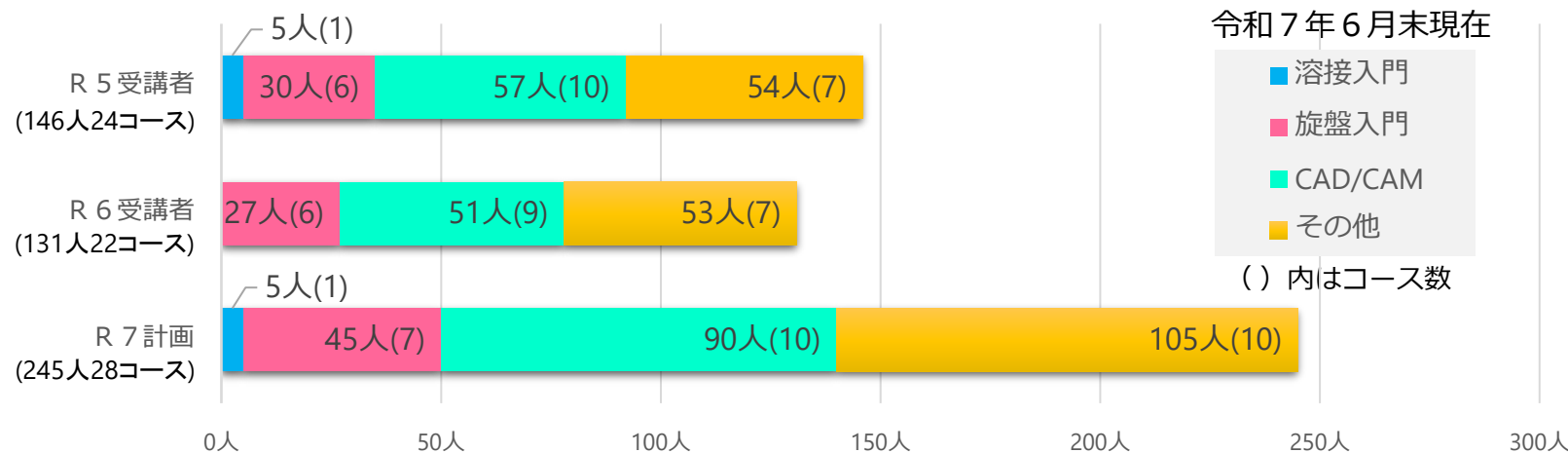
企業在職者を対象に、業務に必要な知識やより高度な技能の習得、資格取得などを目標とした短期講座・企業のニーズに応じたオーダーメイド型在職者訓練を実施。

1 公共職業能力開発施設で行う企業在職者等の技能向上

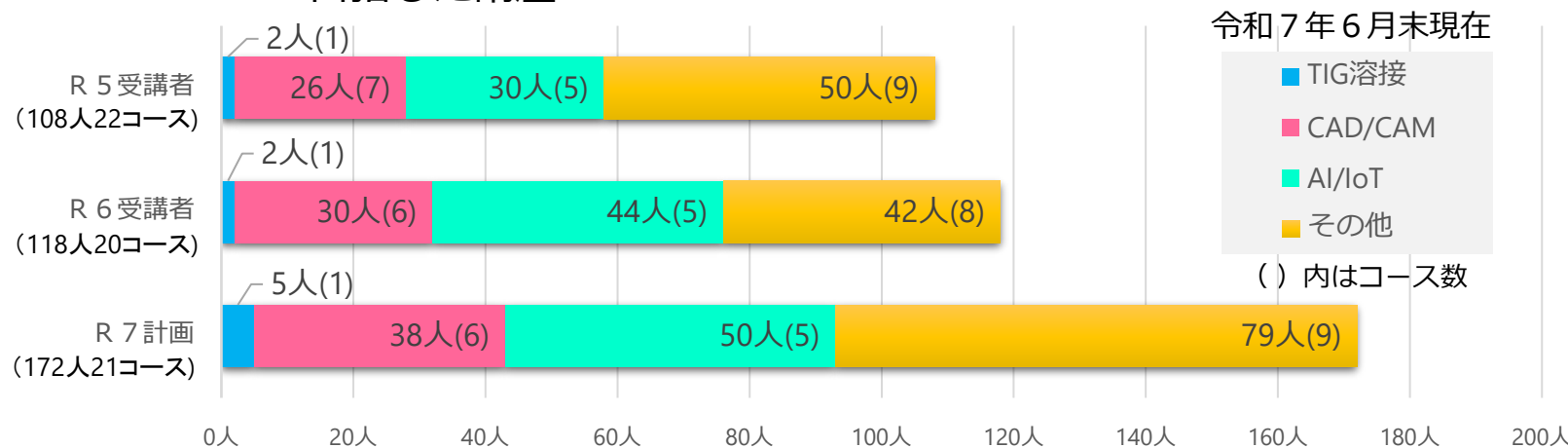
【令和7年度予算 10,578千円】

(1) 通常コース 年間計画により定期的に実施する講座

ア 基礎講座 : 入社1～2年目までの新入社員を対象とした基礎技能の習得講座

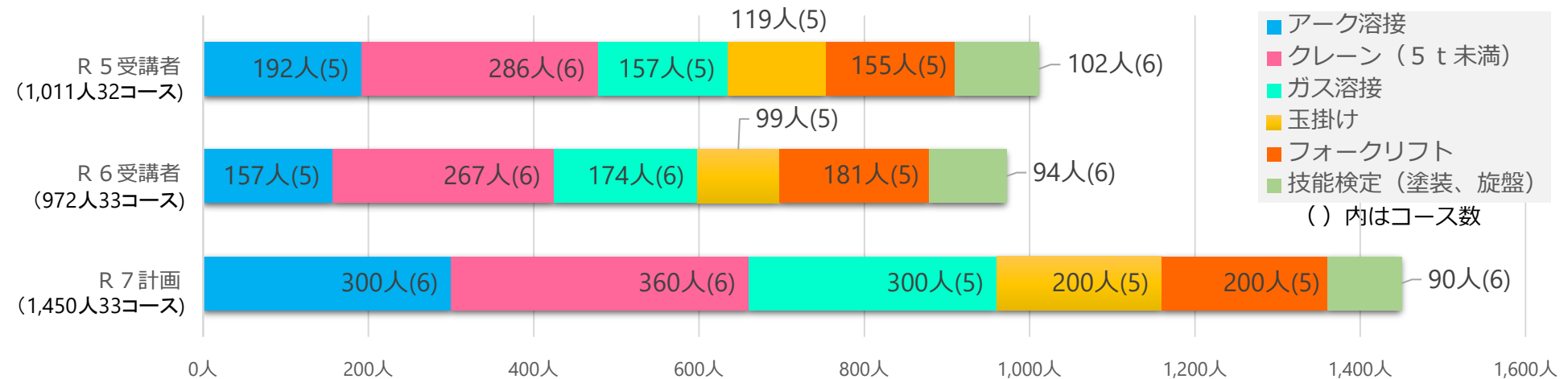


イ 応用講座 : 中堅・若手技能者を対象とした生産現場での実践的な事例と実演、熟練技能の継承を目指した講座



ウ 資格試験対策講座 : 中小社のニーズが高い、資格がなければ業務に従事できない分野について 業界団体等と連携した講座

令和7年6月末現在



【基礎講座：旋盤入門】



【応用講座：CAD/CAM】



【資格試験対策講座：クレーン(5t未満)】

(2) オーダーメイド型コース 企業のニーズに応じたオーダーメイド型の講座

令和5年度実績：機械加工の基礎講座を開講（1コース、3人受講）

令和6年度実績：機械加工の基礎講座を開講（5コース、23人受講）

令和7年度計画：企業ニーズに応じた講座を開講予定（計画：4コース、28人）

(3) 障害者対象コース 在職障害者のスキルアップを目指す講座

令和5年度実績：コミュニケーションスキルの向上にむけた講座を開講（1社、30人受講）

令和6年度実績：コミュニケーションスキルの向上にむけた講座を開講（1社、12人受講）

令和7年度計画：企業ニーズに応じた講座を開講予定（計画：2社、50人）

2 民間事業主団体等の行う職業能力開発に対する支援

【令和7年度予算 21,956千円】

民間事業主団体等が労働者に対して行う職業能力開発を支援。

(1) 認定職業訓練に対する支援

- ・事業所や職業訓練法人で行う職業訓練コースを県が認定。
- ・中小企業等の行うコースは補助金の対象となるほか、要件を満たした修了者には技能士補の称号を付与。
- ・認定された職業訓練のうち、中小企業や職業訓練法人等の行う訓練に対して補助を行い訓練の質的水準を確保。

【認定・支援状況】

令和7年6月末現在（単位：団体・人）

項目	認定状況				支援（補助）状況			
	R6		R7		R6		R7	
	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数	団体数	訓練人数
大企業	5	199	5	266	—	—	—	—
中小企業	13	675	14	813	4	346	3	361
経営者団体等	12	212	11	366	7	113	5	167
職業訓練法人	4	1,499	4	2,576	3	862	3	1,065
その他	4	75	6	108	1	17	3	45
計	38	2,660	40	4,129	15	1,338	14	1,638

(2) 職業訓練指導員の養成・確保

- ・職業能力開発促進法に基づき、指導員講習を修了した者や職業訓練指導員試験に合格した者等に対して職業訓練指導員の免許証を交付し、企業での事業内訓練指導員等の養成・確保を図る。

【交付状況】

令和7年6月末現在（単位：件）

区分	R6	R7
免許交付数	113	21

III 技能の振興と職業観の醸成

- ・ 熟練技能の維持継承が課題とされる中、技能者に対する評価の確立や技能継承の促進、若年労働者に対する職業能力開発を進めるなど、技能尊重気運を醸成。
- ・ 次代を担う青少年のものづくりへの関心や職業意識を醸成するため、ものづくり体験事業を実施。

1 技能の向上

(1) 技能検定の普及促進

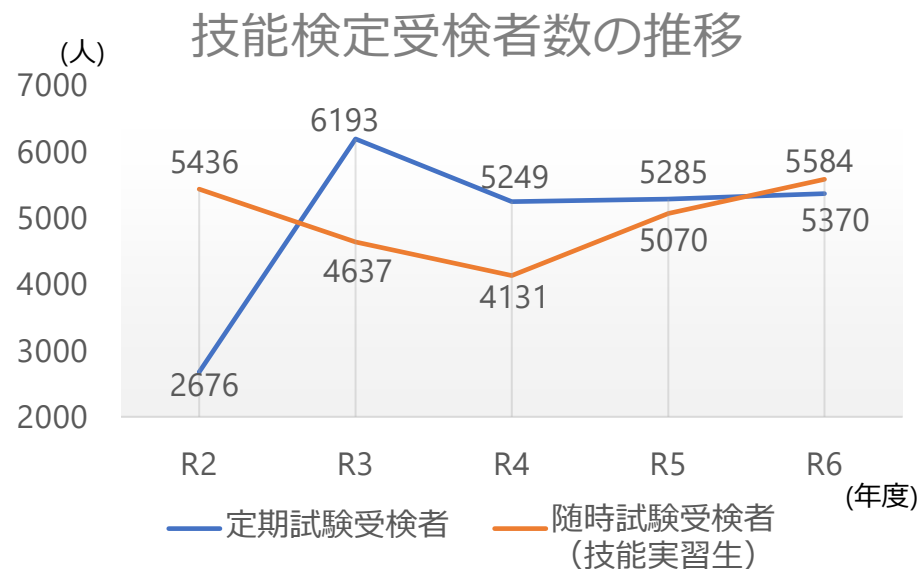
ア 技能検定の実施

- ・ 技能に対する社会一般の評価を高め、労働者の技能と地位の向上を図るため、兵庫県職業能力開発協会と連携して技能検定を実施。
- ・ 合格者に国家資格「技能士」の称号を付与。

【令和7年度予算52,343千円】



技能検定実技試験（建築塗装）



- ・ 令和2年度の定期試験受検者は、新型コロナウイルスの影響により、前期試験を中止したことにより減少。
- ・ 技能実習生については、コロナ禍の影響により令和4年度まで減少していたが、令和5年度から増加に転じた。

【技能検定実施状況】

令和7年6月末現在

		特級	1級	2級	3級	単一	小計	技能実習生対象(随時実施)				合計
								2級	3級	基礎	小計	
R6 年度	受検者(人)	285	1,793	2,211	1,043	38	5,370	594	2,072	2,918	5,584	10,954
	合格者(人)	107	869	1,141	664	19	2,800	12	503	2,789	3,304	6,104
	合格率(%)	37.5	48.5	51.6	63.7	50.0	52.1	2.0	24.3	95.6	59.2	55.7
R7 年度	受検者(人)	—	1,150	1,272	536	78	3,036	74	722	555	1,351	4,387
	合格者(人)	6～9月試験実施中						1	139	542	682	—
	合格率(%)							1.4	19.3	97.7	50.5	—

イ 若者の技能検定受検の促進

- ・「ものづくり分野」において若年者の入職促進を図るため、23歳未満の若者が技能検定の3級を受検する場合に実技試験受検手数料の一部を減免。(最大9,000円)

【3級実技試験受検手数料】

(単位：円)

区分		一般	23歳未満		在校生	23歳未満	
			雇用保険 被保険者	それ以外		雇用保険 被保険者	それ以外
実技試験	機械加工、建築大工等(105職種)	18,200	9,200	13,700	12,100	3,100	7,600
	機械検査、婦人子供服(2職種)	15,100	6,100	10,600	10,100	2,900	5,600
	和裁、電気製図等(4職種)	13,300	4,300	8,800	8,900	2,900	4,400
学科試験	一律	3,100					

(2) 技能者の顕彰

【令和7年度予算 635千円】

広く社会一般に技能尊重の気運を高め、労働者の地位及び技能水準の向上を図るため、優れた技能者を表彰。



県が実施する表彰（兵庫県知事賞）

兵庫県技能顕功賞

- ・極めて優れた技能を有し、兵庫県の産業発展に功績のあった技能者を表彰

[主な要件]

年齢35歳以上かつ経験年数15年以上

[表彰人員] 概ね160人

[表彰開始] 昭和41年～

年度	R5	R6	累計
推薦者数(人)	162	139	
受賞者数(人)	160	133	10,011

兵庫県青年優秀技能者表彰

- ・優れた技能をもって顕著な功績を収め、将来を嘱望される青年技能者を表彰

[主な要件]

年齢35歳未満かつ経験年数7年以上

[表彰人員] 概ね30人

[表彰開始] 平成8年～

年度	R5	R6	累計
推薦者数(人)	89	83	
受賞者数(人)	34	34	1,007

国が実施する表彰（厚生労働大臣賞）

卓越した技能者の表彰

- ・卓越した技能を有する現役の技能者を「現代の名工」として表彰

[主な要件]

全国を通じて第一人者と目される技能者

[表彰人員] 全国で概ね150人

[表彰開始] 昭和42年～

年度	R5	R6	累計
推薦者数(人)	29	21	
受賞者数(人)	7	5	409

(3) 「ひょうごの匠」の認定

【令和7年度予算 23千円】

技能に対する県民の関心を高め、技能の伝承及び後継者の育成を図るため、県内の優れた技能者の中で、技能伝承及び後継者育成に熱意を持つ者を「ひょうごの匠」として認定。

【「ひょうごの匠」認定者数】

令和7年6月末現在 (単位：人)

職種	人	職種	人	職種	人	職種	人
貴金属装身具製作	13	石工	13	印章彫刻	8	建築大工	10
広告美術仕上げ	10	写真	13	寝具	21	建具	11
表具	21	菓子製造	12	婦人子供服製造	19	紳士服製造	7
内装仕上げ施工	13	塗装	18	日本調理	34	左官	12
畳製作	13	ガラス施工	12	造園	12	金属塗装	10
建築板金	14	フラワー装飾	13	時計組立・修理	2	西洋調理	22
瓦葺き	12	和裁	16	26職種 361人 ※うちR7年度認定 5人			

(4) ものづくり技能競技大会への支援

【令和7年度予算 210千円】

ア 技能競技大会参加への支援

技能者の技能・知識及び社会的地位の向上に資するため、技能競技の全国大会に参加する選手を支援。

【支援内容】

- ◆県ユニフォームの贈呈 ◆激励会の開催 ◆技能士団体への選手育成強化費支援
- ◆大会と県出場選手の広報

【兵庫県参加者の状況】

(単位：人)

大会名	対象者	R5	R6	R7
全国技能グランプリ (隔年開催)	・熟練技能者(1級技能士)が対象 ・和裁、日本料理、旋盤、 フラワー装飾など30職種で競う	参加者：23 入賞者：10 (金賞2) 開催地：福岡県 ほか	—	R8.2開催予定 開催地：大阪府 ほか
技能五輪全国大会	・青年技能者(23歳以下)が対象 ・和裁、日本料理、電工、 構造物鉄工など41職種で競う	参加者：24 入賞者：13 (金賞1) 開催地：愛知県	参加者：21 入賞者：13 (金賞3) 開催地：愛知県	R7.10開催予定 開催地：愛知県
全国障害者技能 競技大会 (アビリンピック)	・障害者が対象 ・表計算、喫茶サービスなど25職種で競う	参加者：6 入賞者：2 (銅賞1) 開催地：愛知県	参加者：6 入賞者：2 (銅賞2) 開催地：愛知県	R7.10開催予定 開催地：愛知県

イ 「ものづくり兵庫」 技能競技大会の開催（兵庫県職業能力開発協会と共催）

県内の業態や規模の異なる企業の若者技能者をはじめ、教育訓練機関や職業能力開発施設で学ぶ人々が、互いに切磋琢磨し技能向上に取り組む機会として実施。

【実施内容】

- ・開催日：令和7年11月14日（金）
- ・場所：ものづくり大学校
- ・競技職種：旋盤、溶接、金属塗装、建築大工
- ・対象者：実務経験3年未満の若年技能者（概ね35歳まで）
- ・募集人数：62人

2 ものづくり体験を通じた若者等への職業観の醸成

(1) ものづくり体験事業

【令和7年度予算 52,013千円】

本県産業の礎となるものづくりへの関心を高め、技能者の後継育成につなげるため、小中学生および高校生に対し、本格的なものづくり体験の機会と場を提供。

ア ものづくり体験学習（中学生・高校生対象）※令和5年度から高校生にも拡充して実施

年度	R5年度	R6年度	R7年度(予定)
参加校	82校 (中学校76校、高校6校)	72校 (中学校68校、高校4校)	80校 (中学校70校、高校10校)
参加人数	7,985人 (中学生7,930人、高校生55人)	7,219人 (中学生7,162人、高校生57人)	7,440人 (中学生7,350人、高校生90人)

【ものづくり体験例】

中学生：フラワーデザイン、横断幕、和裁巾着、ミニ畳、チリトリ製作など

高校生：金属塗装、金属コースター、木工製作、ミニ屏風制作など

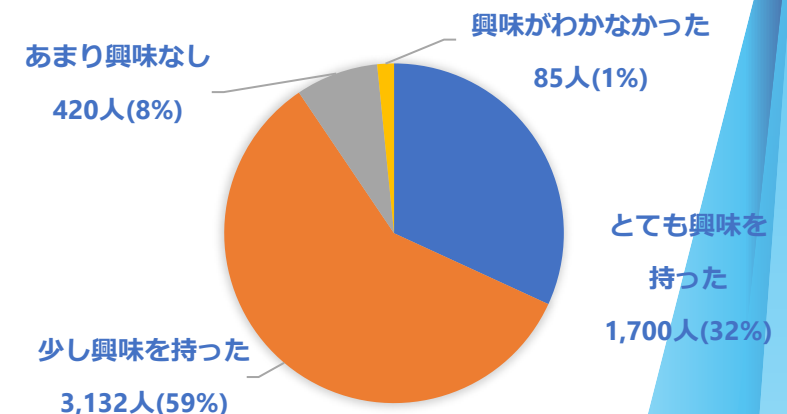


キャンドルスタンド



テープカッター

ものづくり体験学習 実施後アンケート



回答総数 7,160

イ ものづくり体験講座（主に小学生対象、夏・冬休み期間等を実施）

令和5年度からものづくり体験館での実施に加え、神戸地域、但馬地域にも拡充。

年度	R5年度	R6年度	R7年度(予定)
講座数	80回 (体験館42回、神戸29回、 但馬9回)	82回 (体験館47回、神戸25回、 但馬10回)	80回 (体験館50回、神戸20回、 但馬10回)
参加人数	843人 (体験館566人、神戸197人、 但馬80人)	665人 (体験館370人、神戸213人、 但馬82人)	720人 (体験館405人、神戸225人、 但馬90人)

【講座例】

金属板ペン立て、木製ティッシュケース、革の三角折りサイフ、錫のキーホルダーなど

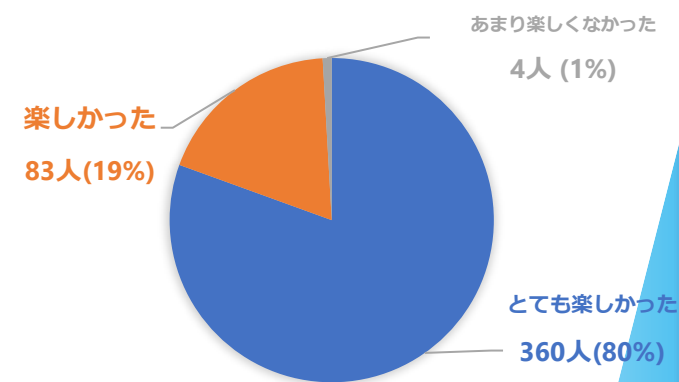


内装仕上げ



六角カラーペン立て

ものづくり体験講座 実施後アンケート



回答総数 448

- ウ ものづくり体験地域イベント出展（主に小学生、高校生対象）** ※令和6年度から実施
 地域イベントに出展し、高校生が熟練技能者のサポートのもと来場した小学生等にもものづくりの体験指導を実施。
 【実施回数】神戸地域、播磨地域、但馬地域で各1～2回

年度	R6年度	R7年度(予定)
実施回数	5回 (神戸地域2回、播磨地域2回、但馬地域1回)	6回 (神戸地域2回、播磨地域2回、但馬地域2回)
参加人数	173人 (神戸68人、播磨地域65人、但馬40人)	200人 (神戸70人、播磨地域65人、但馬65人)



神戸地域



播磨地域



但馬地域

(2) 技能フェスタ

【令和7年度予算 3,000千円】

ものづくり体験を通じて若者等への職業観の醸成を図るため、親子を対象に多彩なものづくり体験イベント「技能フェスタ」を神戸市、兵庫県技能士会連合会、神戸市技能職団体連合会との共催により開催。

【実施内容】

- ・開催時期：令和7年10月25日（土）～10月26日（日）
- ・場 所：神戸国際展示場 3号館
- ・内 容：技能体験(全31ブース)、製作実演、作品展示、即売等
- ・参加団体：和裁、洋菓子、表具、貴金属、畳、左官、洋裁、日本調理等 47団体・施設
- ・入場者数：約5,700人（令和6年度実績）



和装ミニきんちゃく作り（和裁）



ミニ畳製作体験（畳）



シルバーリング製作体験（貴金属）

IV 多様な就労の促進

1 外国人の雇用・就職・定着の促進

(1) ひょうご外国人雇用企業認定制度の創設【令和7年度予算 13,221千円】

外国人の受け入れが進む中、多文化共生を推進する先進県として、外国人が安心して就職・定着できるよう、外国人を雇用する県内企業の取組をチェックリスト方式で見える化する外国人雇用に関する企業認定制度を創設（R7年度下期運用開始予定）

ア 外国人雇用企業認定制度

- ・対象企業：県内に本社のある中小企業
- ・有効期間：3年間
- ・チェック項目：法令遵守、募集・採用、労働環境、生活環境、キャリア支援・福利厚生、エンゲージメントの向上（18項目中15項目以上達成で認定）
- ・認定メリット：県HP掲載、ロゴマーク使用、県信用保証協会保証料率割引、合同企業説明会への優先出展

イ 広報セミナーの開催

外国人材の雇用や定着に取り組む企業に認定取得を促すセミナーを開催

〇スケジュール

R7	R8
試行運用（※）	本格運用（企業募集、広報セミナー開催、認定等）

- （※）
- ・令和7年度下期からの本格運用を見据え、令和7年度上期（4月～9月）に規模、業種、地域のバランスを考慮し選定した県内中小企業20社の協力を得て試行的に制度を運用
 - ・制度内容のほか、申請手順、申請方法等を企業とともに確認し、制度を多面的に検証
 - ・試行運用では認定基準の未達成企業が約半数あったが、約9割の企業が制度の本格運用後に申請を希望

(2) 外国人留学生等を対象とした人材確保の推進【令和7年度予算 28,631千円】

留学後も日本に在留し就業を希望する外国人留学生を対象に、合同企業説明会を開催し県内就職を促進。海外現地で学び日本への就職を希望する外国人大学生等を対象としたキャリアフェアを開催することにより海外人材を獲得。

ア 留学生向け合同企業説明会の開催

就職活動中の外国人留学生（高度外国人材等）を対象とした合同企業説明会を神戸市と共同開催。

留学生向け合同企業説明会実績	R6.6.19(水)	R7.6.25(水)
参加企業数	76社	76社
参加者数	710人	1,706人
採用内定者数	45人 * R6.9月末時点	—



留学生向け合同企業説明会

イ 首都圏開催合同企業説明会への出展

外国人留学生（高度外国人材等）等を対象としたインターナショナルジョブフェア東京2025の会場内に、県内企業10社程度を集めた「HYOGOストリート」を設置。

- ・開催日： 令和7年11月7日（金）、8日（土）
- ・場所： 東京都立産業貿易センター浜松町館

ウ 外国人採用キャリアフェアへの出展

ベトナム・ホーチミン市工科大学で開催されるキャリアフェアの会場内に、県内企業15社程度を集めた「HYOGOストリート」を設置。

- ・開催日： 令和7年10月4日（土）（予定）
- ・場所： ベトナム・ホーチミン市工科大学内

〔R6年度プレイベント実績 ※オンライン開催〕参加企業：11社、参加者：85名

(3) 外国人雇用HYOGOサポートデスクの運営

【令和7年度予算12,019千円】

外国人材の受け入れを希望する企業に対して、円滑な外国人雇用を支援するため、外国人雇用に関する制度理解を進め、相談等を行うサポートデスクを運営。

【実施方法】 (一財) 兵庫県雇用開発協会へ委託

ア 相談窓口の運営

- ・対象： 外国人を雇用している、または雇用を希望する県内企業
- ・実施方法： 対面、電話、メールによる相談
- ・相談内容： 在留資格、外国人雇用制度
業務内容・人事労務管理上の留意点の相談・助言
- ・相談体制： 雇用相談員（2名）
専門アドバイザー（予約制：行政書士、社会保険労務士）
- ・設置場所： ひょうご・しごと情報広場内（神戸クリスタルタワー12階）
- ・相談日時： 週5日（月～金）、10時～18時
- ・実績： R6年度：200件
R7年度： 46件(令和7年6月末現在)

イ 外国人雇用セミナーの開催

- ・対象： 外国人雇用に関心のある企業、外国人を雇用している企業
- ・実施回数： 年2回程度
- ・実施内容： 外国人雇用制度説明、雇用先進事例紹介等
- ・実績： R6年度：2回開催、70人参加
R7年度：2回開催予定

2 障害者の雇用・就業・定着の促進

(1) ひょうごジョブコーチ推進事業

【令和7年度予算 35,485千円】

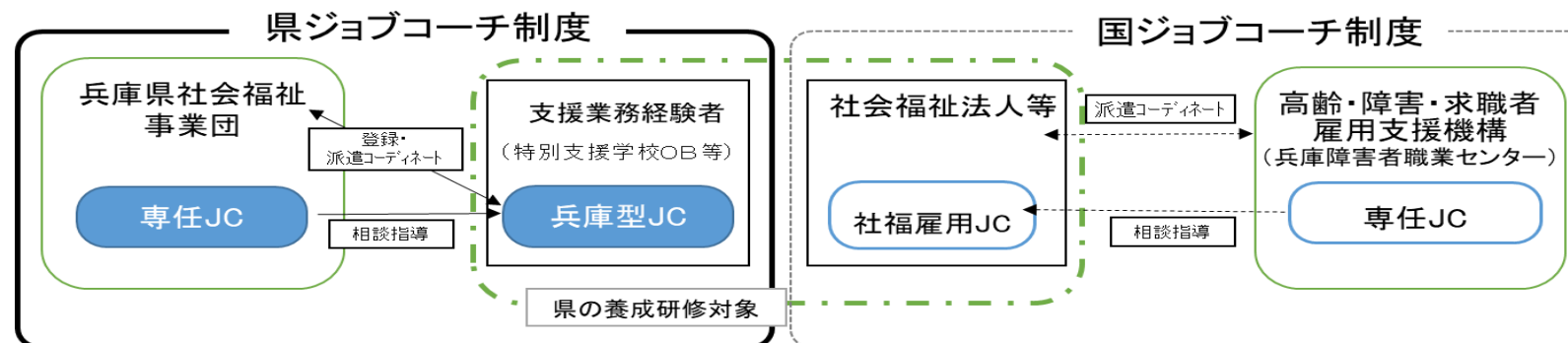
障害者の就労・職場定着支援の充実を図るため、県独自制度のジョブコーチが障害者の職場を訪問し、個々の特性を踏まえた専門的な伴走型支援を実施。

【実施方法】 (社福) 兵庫県社会福祉事業団に委託

【実施内容】

ア 養成 国の定める養成研修を実施し、兵庫型ジョブコーチ等を養成

イ 派遣 兵庫型ジョブコーチ(JC)または専任ジョブコーチ(JC)が企業に出向き障害者及び企業双方に対する支援を実施



※県ジョブコーチ制度は、短時間勤務を対象とするなど、国の制度よりも柔軟に運用

【実績】 (令和7年6月末現在)

<養成研修実績>

年度	開催	養成者数
R6	8月・1月(2回開催)	37人
R7	8月・1月(2回開催) 予定	—

<県ジョブコーチ支援実績>

年度	専任ジョブコーチ	兵庫型ジョブコーチ
R6	189回(2人)	934回(31人(R7.3))
R7	62回(2人)	250回(31人(R7.6))

(2) 特例子会社・事業協同組合設立等助成金事業【令和7年度予算 14,835千円】

中堅・中小企業による特例子会社・事業協同組合の設立や、特例子会社・事業協同組合による障害者新規雇用に要する施設整備費等の経費を助成。

【実施方法】（一財）兵庫県雇用開発協会で実施

【助成金メニュー及び実績】

（令和7年6月末現在）

		特例子会社 設立助成	事業協同組合 設立助成	雇用拡大助成 (障害者の新規雇用)
対象		中堅・中小企業	中小企業	特例子会社・事業協同組合
助成率		1/2	2/3	1/2
上限額		5,000千円	5,000千円	1人目／1,000千円(重度2,000千円) 2人目～／100千円(重度500千円)
実績	R6	1件 (助成額393千円)	0件	2件 (新規雇用者数6人、助成額3,256千円)
	R7	0件	0件	0件

(R7.6月末時点) 特例子会社44社、事業協同組合1団体

(3) ひょうご障害者ワークフォーラムの開催

- ・就労を希望する障害者やその支援者、障害者の雇用を考える企業を対象としフォーラムを開催。
- ・企業ブースや関係機関の相談コーナーを設置するほか、オンラインを活用した情報提供も実施。

【実績】

年度	開催日	開催場所	参加人数	参加企業数
R6	11月12日(火)	神戸国際展示場	605人	25社
R7	11月11日(火)	神戸国際展示場	—	25社予定

(4) 障害者雇用就業・定着拡大推進事業

【令和7年度予算 52,473千円】

県内10か所の障害者就業・生活支援センターに推進員を配置し、実習・就職先の開拓や就職相談等を実施するほか、特に支援が必要とされる精神・発達障害者等に対し就労や職場での定着を支援。

【実施内容】

- ア 基本的な労働習慣の習得に向けた個別支援
- イ 職務適性判断、職場実習調整
- ウ 精神、発達障害者の就労定着に向けた個別支援
- エ 就職先となる企業等の開拓
- オ 障害者、雇用者双方に対する継続的な相談対応 等

【障害者就業・生活支援センター一覧】

地域	実施機関	地域	実施機関
神戸	(社福)神戸聖隷福祉事業団(神戸市)	中播磨	(社福)姫路市社会福祉事業団(姫路市)
阪神南	(社福)三田谷治療教育院(芦屋市)	西播磨	(社福)兵庫県社会福祉事業団(赤穂市)
阪神北	(社福)いたみ杉の子(伊丹市)	但馬	(特非)ぷろじえくとPlus(豊岡市)
東播磨	(社福)加古川はぐるま福祉会(加古川市)	丹波	(社福)わかたけ福祉会(丹波篠山市)
北播磨	(社福)兵庫県社会福祉事業団(三木市)	淡路	(社福)兵庫県社会福祉事業団(洲本市)

※各センターに推進員2名を配置

【実績】

(令和7年6月末現在)

年度	登録者数	相談件数	就職者数
R6	7,277人	10,999件	482人
R7	7,293人	2,926件	194人



兵庫県